

幼児教育学科

科目名: 保育実践演習			担当教員 氏名: 宮越 浩子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 教育現場での教員経験をもとに、子どもがどのような場面でのどのような困り感を抱くのかについて具体的な事例を通して理解するとともに、子どもの実態に合った関わり・支援の在り方を実践的に学ぶ。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
困り感のある子どもなどの理解を深めること及びよりよいかかわりや支援の実践をテーマとして研究していく。各自が課題を設定しながら現場に出るとともに、学生の主体的な調査、観察、討議などに基づき演習を進める。						困り感、子どもの発達、子どもの行為、子どもの生活支援、子どもの遊び、障がい
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 5. 6. 7. 8. 9.			
A	知識・理解力		困り感のある子どもなどの発達の理解と子どもへのよりよいかかわり・支援について理解を深める。また、現場での子どもの観察・関わりを通し、子ども理解を深める。			
B	専門的技術		現場での子ども理解をもとに、子どもの実態に合った、かかわり・支援の在り方を学ぶ。			
C	論理的思考力		自分の演習テーマ・研究課題を設定し、現場での子どもとの関わりをもとに考察を深める。			
E	自己管理能力		保育・教育・福祉の現場ではたらくことができる「私」づくりを行う。			
H	コミュニケーション力		発表場面等で自分の学びを適切に伝えられる。また、積極的にディスカッションに参加する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験:	%	その他: 50 %
特記事項:「レポート:30%」は、ゼミでの学び、文献や実習体験などからのレポートを作成度合いに評価する。「発表:20%」は、集団的な学びの場での発表を評価する。「その他:50%」は、アクティブラーニングの一環として、現場での子どもたちの観察・ふれあい・実習への参加・事前の準備など態度を評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:レポートは、ゼミでの学び、文献や実習体験などをもとに作成する。発表は、集団的な学びの場での発表と終末に各自のテーマに基づく発表会を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:レポート等は評価終了後返却し、発表はその都度評価を伝え、学びを深められるよう指導する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、研究の進め方について(研究内容、研究方法、日程的な見直しなど)				各自の問題意識を書き出す	【予習】60分 【復習】60分	
②子どもと障がいの理解を深める1(障害について学ぶ)				②での気付きを整理する。	【復習】60分	
③子どもと障がいの理解を深める2(障害児施設について学ぶ)				③での気付きを整理する。	【復習】60分	
④子どもと障がいの理解を深める3(障害児施設での観察・ふれあいⅠ)				④での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑤子どもと障がいの理解を深める4(障害児施設での観察・ふれあいⅡ)				⑤での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑥子どもと障がいの理解を深める5(④⑤での学びの振り返り)				④⑤での気付き・学びのレポート作成	【復習】60分	
⑦子どもと障がいの理解を深める6(障害児施設での観察・ふれあいⅢ)				⑦での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑧子どもと障がいの理解を深める7(障害児施設での観察・ふれあいⅣ)				⑧での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑨子どもと障がいの理解を深める8(⑦⑧での学びの振り返り)				⑦⑧での気付き・学びのレポート作成	【復習】60分	
⑩子どもと障がいの理解を深める9(障害児施設での観察・ふれあいⅤ)				⑩での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑪子どもと障がいの理解を深める10(障害児施設での観察・ふれあいⅥ)				⑪での気付き・学びの振り返り	【復習】60分	
⑫子どもと障がいの理解を深める11(⑨⑩での学びの振り返り)				⑩⑪での気付き・学びのレポート作成	【復習】60分	
⑬各自の研究テーマに応じた研究調査方法について				⑬について復習と文献調査	【復習】60分	
⑭各自の研究テーマに応じた研究調査(文献調査・実践の振り返り)				⑭について学びのレポート作成	【復習】60分	
⑮各自の研究テーマに応じた全体発表・討議(文献調査・実践の振り返りなどの発表と討議、後期の研究に向けて)				⑮について学びのレポート作成	【予習】60分	
使用テキスト:使用しない。適宜、資料を配布したり、紹介したりする。				その他参考文献など:DVD「ほくほく うみをみたくなりました」、書籍「ほくほく うみをみたくなりました」山下久仁明 ぶどう社、「発達障害のある子が楽しめる あんしんあそび」すばる舎		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各自が問題意識をもち、探り、深めながら、積極的に演習に取り組みましょう。前期及び夏休み中に障がい児・者とかかわるボランティアにも積極的に参加しましょう。						